

TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE

東京農業大学教職課程

Annual Report

令和2年度版



Tokyo NODAI-styleの教員養成

つながる力

つなげる力

学校・地域との連携、農・理・技・社・栄の連環



令和元年度 農大教職課程世田谷・厚木キャンパス 主な活動報告

- 4月** 新入生教職課程ガイダンス
令和元年度教員採用試験直前対策講座開講
教育委員会による教員採用学内説明会（～5月）
令和2年度教員採用試験大学推薦学内説明会及び選考
- 5月** 教員採用試験教育法規・学習指導要領勉強会
教育ボランティア募集説明会
4年生教育実習開始
- 6月** 教員採用試験1次対策講座開講
新入生教職課程履修申込ガイダンス
- 7月** 富士生物野外研修開催
介護等体験への派遣開始
1年生教職課程履修申込
- 8月** オープンキャンパス
免許状更新講習開催
教員採用試験2次対策講座開講
夏季若手教員研修会開催
高大連携（農業実習）
免許法認定講習開催

- 9月** 令和元年度教員採用試験対策講座開講
教採対策講座・教員採用試験合格者から学ぶ
- 10月** 1年生教職課程履修開始
- 11月** 収穫祭
教職実践演習（現地演習）学内説明会
教育研究フォーラム
教採対策講座・教員採用試験合格者から学ぶ
教育委員会による教員採用学内説明会（～12月）
- 12月** 世田谷・厚木合同第5回教育実習全体指導
高大連携（学生による出張授業）
- 2月** 現地演習報告会
- 3月** 卒業式（教員免許状授与）



本学で取得できる免許状※

■普通免許状

学 科	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
農学部		
農学科	理科	理科・農業
動物科学科	理科	理科・農業
生物資源開発学科	理科	理科・農業
デザイン農学科	—	農業
応用生物科学部		
農芸化学科	理科	理科・農業
醸造科学科	理科	理科
食品安全健康学科	理科	理科・農業
栄養科学科	理科	理科
生命科学部		
バイオサイエンス学科	理科	理科・農業
分子生命化学科	理科	理科・農業
分子微生物学科	理科	理科・農業
地域環境科学部		
森林総合科学科	理科・技術	理科・農業
生産環境工学科	理科・技術	理科・農業
造園科学科	理科	理科・農業
地域創成科学科	—	農業
国際食料情報学部		
国際農業開発学科	理科	理科・農業
食料環境経済学科	社会	地歴・公民・農業
国際バイオビジネス学科	—	農業
国際食農科学科	—	農業

■栄養教諭免許状

学 科	免許状の種類
応用生物科学部 栄養科学科	一種免許状

教員採用試験対策講座 —若手先輩教員から学ぶ—

教員採用試験対策講座では例年「若手先輩教員から学ぶ」と題して、着任して1、2年目のOB・OG教員を招き、「教員採用試験合格への道」を伝授していただいております。令和元年度は第1回目が2019年9月21日（土）、東京都立石神井特別支援学校・技術科教諭の守屋鼓太郎先生、さいたま市立土合中学校・理科教諭の服部有華先生、江戸川区立篠崎中学校・理科教諭の細田菜穂子先生の3名、第2回目が2019年12月7日（土）、さいたま市立辻小学校・栄養教諭の高井美緒先生、千葉県立旭農業高等学校・農業科教諭の大山佳菜先生、柏市立逆井中学校・理科教諭の本田朋己先生の3名が来学されました。講座前半では、教員採用試験までの準備方法と実際の面接試験や模擬授業などの様子、教育実習で苦労した点、嬉しかった点、さらには初任者教員として学校現場で奮闘している様子を語っていただきました。後半では、受講生一人一人の質問や悩み事に丁寧にアドバイスして下さり、その真摯な姿は教員を目指す後輩たちの大きな憧れとなりました。



令和元年度 教職課程履修者数

学年	1年生(2019)										2年生(2018)										3年生(2017)										4年生(2016)									
	人数	農業	中学理	高校理	技術	社会	地歴	公民	情報	栄養	人数	農業	中学理	高校理	技術	社会	地歴	公民	情報	栄養	人数	農業	中学理	高校理	技術	社会	地歴	公民	情報	栄養	人数	農業	中学理	高校理	技術	社会	地歴	公民	情報	栄養
農学科	27	19	16	17	※	※	※	※	※	※	32	22	13	16	※	※	※	※	※	※	36	18	12	19	※	※	※	※	※	※	31	23	14	16	※	※	※	※	※	※
動物科学科	25	13	11	13	※	※	※	※	※	※	22	8	17	18	※	※	※	※	※	※	35	23	18	20	※	※	※	※	※	※	20	18	13	14	※	※	※	※	※	※
生物資源開発学科	16	6	12	14	※	※	※	※	※	※	24	8	16	17	※	※	※	※	※	※																				
デザイン農学科	5	5	※	※	※	※	※	※	※	※	10	10	※	※	※	※	※	※	※	※																				
バイオセラピー学科																					11	3	7	9	※	※	※	※	※	※	15	2	14	14	※	※	※	※	※	※
厚木 計	73	43	39	44	0	0	0	0	0	0	88	48	46	51	0	0	0	0	0	0	82	44	37	48	0	0	0	0	0	0	66	43	41	44	0	0	0	0	0	0
生物応用化学科	9	2	9	9	※	※	※	※	※	※	8	3	8	8	※	※	※	※	※	※	19	4	16	17	※	※	※	※	※	※	12	0	12	12	※	※	※	※	※	※
醸造科学科	2	※	2	2	※	※	※	※	※	※	11	※	10	11	※	※	※	※	※	※	5	※	5	5	※	※	※	※	※	※	8	0	8	8	※	※	※	※	※	※
食品安全健康学科	2	※	2	2	※	※	※	※	※	※	4	0	4	4	※	※	※	※	※	※																				
栄養科学科	10	※	※	※	※	※	※	※	※	※	10	20	※	1	※	※	※	※	※	※	20	22	※	5	6	※	※	※	※	※	21	27	※	8	9	※	※	※	※	※
バイオサイエンス学科	10	1	10	10	※	※	※	※	※	※	25	5	24	25	※	※	※	※	※	※	19	3	18	18	※	※	※	※	※	※	25	5	23	24	※	※	※	※	※	※
分子生命化学科	14	1	13	14	※	※	※	※	※	※	17	2	16	16	※	※	※	※	※	※	10	1	10	10	※	※	※	※	※	※										
分子微生物学科	16	3	16	16	※	※	※	※	※	※	15	4	13	15	※	※	※	※	※	※	17	3	16	16	※	※	※	※	※	※										
森林総合科学科	26	12	16	18	15	※	※	※	※	※	13	4	9	10	3	※	※	※	※	※	16	12	12	12	7	※	※	※	※	※	36	21	25	25	18	※	※	※	※	※
生産環境工学科	20	13	10	10	12	※	※	※	※	※	22	7	14	15	12	※	※	※	※	※	10	4	8	8	3	※	※	※	※	※	21	8	20	20	6	※	※	※	※	※
造園科学科	5	2	2	3	※	※	※	※	※	※	14	11	5	5	※	※	※	※	※	※	9	7	6	6	※	※	※	※	※	※	10	6	7	7	※	※	※	※	※	※
地域創成科学科	6	6	※	※	※	※	※	※	※	※	7	7	※	※	※	※	※	※	※	※	4	4	※	※	※	※	※	※	※	※										
国際農業開発学科	14	10	7	7	※	※	※	※	※	※	26	23	13	15	※	※	※	※	※	※	32	22	24	25	※	※	※	※	※	※	36	18	31	31	※	※	※	※	※	※
食料環境経済学科	17	11	※	※	※	7	7	2	※	※	25	15	※	※	※	10	13	5	※	※	24	13	※	※	※	7	15	11	※	※	33	15	※	※	※	13	19	16	※	※
国際バイオビジネス学科	3	3	※	※	※	※	※	※	※	※	10	2	※	※	※	8	※	※	3	※	11	7	※	※	※	1	※	※	7	※	11	7	※	※	※	1	※	※	6	※
国際食農科学科	5	5	※	※	※	※	※	※	※	※	6	6	※	※	※	※	※	※	※	※	6	6	※	※	※	※	※	※	※	※										
世田谷 計	159	69	87	91	27	7	7	2	0	10	223	89	117	125	15	18	13	5	3	20	204	86	120	123	10	8	15	11	7	21	219	80	134	136	24	14	19	16	6	26
北方圏農学科	15	15	※	※	※	※	※	※	※	※	23	23	※	※	※	※	※	※	※	※	18	18	※	※	※	※	※	※	※	※	7	7	※	※	※	※	※	※	※	※
海洋水産学科	18	※	17	18	※	※	※	※	※	※	11	※	10	11	※	※	※	※	※	※	18	※	18	18	※	※	※	※	※	※	14	※	13	13	※	※	※	※	※	※
食香粧化学科	8	※	8	8	※	※	※	※	※	※	8	※	8	8	※	※	※	※	※	※	9	※	9	9	※	※	※	※	※	※	7	※	5	7	※	※	※	※	※	※
自然資源経営学科	6	※	※	※	※	3	※	6	※	※	9	※	※	※	※	5	※	9	※	※	11	※	※	※	※	6	※	11	※	※	9	※	※	※	※	5	※	9	※	※
オーソーク 計	47	15	25	26	0	3	0	6	0	0	51	23	18	19	0	5	0	9	0	0	56	18	27	27	0	6	0	11	0	0	37	7	18	20	0	5	0	9	0	0
大学 計	279	127	151	161	27	10	7	8	0	10	362	160	181	195	15	23	13	14	3	20	342	148	184	198	10	14	15	22	7	21	322	130	193	200	24	19	19	25	6	26

*各学年、入金実績より算出

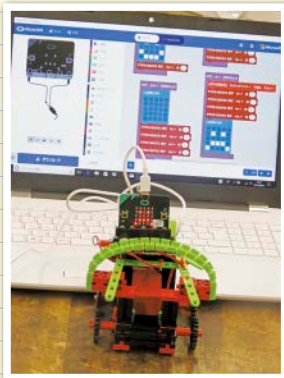
第6回夏季若手教員研修会

8月11日に本課程理科教育研究室教員(武田晃治・加納一三)による研修会を開催しました。今年度の研修会のテーマは、「植物組織培養における基本講習と色に着目した教材体験」でした。研修会ではまず、高校生物教材として、FAD結合型タンパク質の酸化還元反応による色の変化を視覚化した教材紹介とその体験講習を行いました。次に植物の組織培養についての講義と実験指導を行いました。今回は、理科のみならず農業科にも活用できる研修会となりました。



令和元年度免許状更新講習

2019年8月4日～8日に免許状更新講習(必修・選択)を開講しました。選択領域のテーマは「バイオテクノロジー・プログラミングと木工・地域再生」。1日目は「山村と都市との交流による体験学習の現地研修」と題して、川場村で森林管理実習を実施しました。2日目・3日目は本課程で開発した「高校生物」の活性化酸素とDNAを用いた実験とマイクロコンピュータ(マイクロビット)を使用し身の回りにある物を制御する実習等を体験し、受講者から大好評を博しました。



第22回東京農大教育研究フォーラム

第22回目となる今回のテーマは「農福連携」。本学教職・学術情報課程主任の上原巖教授より「自然・野外活動からの特別支援教育へのアプローチ」と題して、同教授が養護学校や社会福祉施設において取り組んだ事例報告と今後の可能性についての提言があり、続いて全国特別支援教育推進連盟理事長の宮崎英憲氏より「農業と特別支援教育」をテーマに農福連携事業の現在の動きや事例についてのご講演をいただきました。本学教職課程でも2019年度から1年次後期科目に「特別支援教育論」を開講していますが、特別支援教育における手法、工夫は、現在の教



育界においても普遍的な可能性を持っていることも示されました。「農」の分野からの特色ある特別支援教育の可能性が示されるフォーラムとなりました。

令和元年度 教育実習への取り組み： 実践的指導力を育む



教育実習全体指導

農大教職課程では、教育実習に向けた個別指導および全体指導を行っています。毎年12月には百周年記念講堂に現場の先生方をお招きし、「教育実習に臨むにあたっての心構え」をご教授いただ



いております。令和元年度は12月14日に実施し、世田谷区教育政策部副参事の加藤敏久先生にご講演いただきました。「机間指導は書くことへのコーチングとリサーチ」など、具体的な指導法を伝授して

下さいました。また、栄養教諭志望者への全体指導では、全国学校栄養士協議会副会長の柳沢幸子先生により、栄養教諭実習に関するご講演がありました。



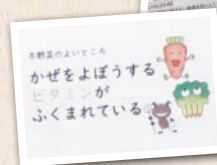
教職実践演習の取組



教職実践演習での学び

教職実践演習は学部4年間の「学びの軌跡の集大成」として、4年次後期に開講されます。クラスは少人数で、受講生が発表や討論をする機会が多く設けられています。授業を担当するのは前年度から教育実習の事前・事後指導を担当している教職課程教員で、受講生のニーズに合わせて授業内容をアレンジすることがあります。栄養教諭のクラスでは、学生達は食育の視点に基づいた給食の献立とそれを解説する校内放送の原稿を作成しました。

教員採用試験合格者には学校での5日間の「現地演習」を課しています。これに参加した学生は、学校現場で教師の仕事全体を見せていただいたり、授業に参加させていただき、4月からの教員生活に自信をつけています。



令和元年度 オープンキャンパス



2019年8月4日・5日に東京農業大学キャンパス見学会が開かれました。教職課程では教員免許状取得に関する説明の他に、本課程で教材開発に取り組んだ成果を理科実験および技術科実習として来場者に体験してもらいました。色素研究教材としてのカラフルザリガニやトカゲ、猛禽類などの甲殻類や爬虫類、鳥類の観察学習は大盛況で、2000人以上の来場者数がありました。



富士生物野外研修参加記

農学部農学科3年 吉田モモ

研修では、はじめに5合目・森林限界の植生を観察し、その後、精進湖登山道を3合目まで下山しました。道中ではシラビソ、コメツガなどの針葉樹の判別、雨の中の植生調査を行い、植生図を作成しました。高山帯に植生する針葉樹や植物を実際に観察・記録し、植物群落の垂直分布を体感するとともに、危険が伴うことの多い野外活動における指導方法や安全への配慮、教員の配置など、実際に体験しておく必要があることを学びました。教科書の中だけでない、生きた授業を行う上で役立つことができる、貴重な体験をすることができました。

富士生物野外研修



高度な専門性へのステップ

本学教職課程では実践的指導力と高度な専門性を身に付けた教員養成に取り組んでいます。その活動の一環として、令和元年度夏、現役学生を対象に「富士生物野外研修」を実施しました。実施日は梅雨明け間近の7月6日（土）。参加者は教員3名、学生30名の計33名。「富士山の植生観察と調査活動を通じ、植物群落の垂直分布と代表的な植物を知り、同時に野外活動の指導方法を学ぶ」ことを目的として、1日ばかりで動植物の宝庫である富士山の野外研修に挑みました。

4 日程

- 6:45 集合 農大世田谷キャンパス内、横井時敏先生像前
 7:00 出発 (農大スクールバスにて移動) ※遅刻者は待たない。
 中央高速道→富士スバルライン
 10:00 富士山5合目駐車場着、下車 (バスはそのまま3合目駐車場まで移動)
 10:10 5合目・森林限界の植生および植物の観察
 11:00 5合目から精進湖登山道を下山開始 (下山しながら植生及び植物の観察)
 13:00 昼食
 13:30~14:30 針葉樹林にて植生図作成
 14:30 下山開始
 16:30 3合目駐車場にてバスに乗り、農大に向け出発
 富士スバルライン→中央高速
 19:00 農大世田谷キャンパスにて解散



教職課程教員紹介



教育学研究室・木内隆生教授

本研究室は特別活動・生徒指導を専門として、教育・研究活動を行っており、現在私は、開発的な生徒指導や教育的グループワークの研究に取り組んでいます。この5年間の私の主な研究・教育活動・その他について、以下に紹介します。

- 著書：『思春期青年の協同性プログラムに関する開発的研究』（単著、大学図書2016）。『新しい時代の生徒指導・キャリア教育』（共著、ミネルヴァ書房2019）。『特別活動15講と総合的学習8講』（編著、大学図書2019）。
- 論文：「都立高校女性校長のキャリア形成過程に関する事例研究」（『東京農業大学農学集報』第62巻2号2017）。『『総合的な探究の時間』における探究課題と追究方法の検討』（『せいとか&そうごう』第26号、日本生活科・総合的学習教育学会2019）。「高校特別活動へ汎用するグループワークの検討ーリチャード・ローティの教育思想に着目してー」（『日本特別活動学会紀要』第27号2019）。
- 受賞歴：学会賞：平成30年8月「日本特別活動学会・学術研究賞」。令和元年8月「日本生徒指導学会・研究貢献賞（執筆部門）」。



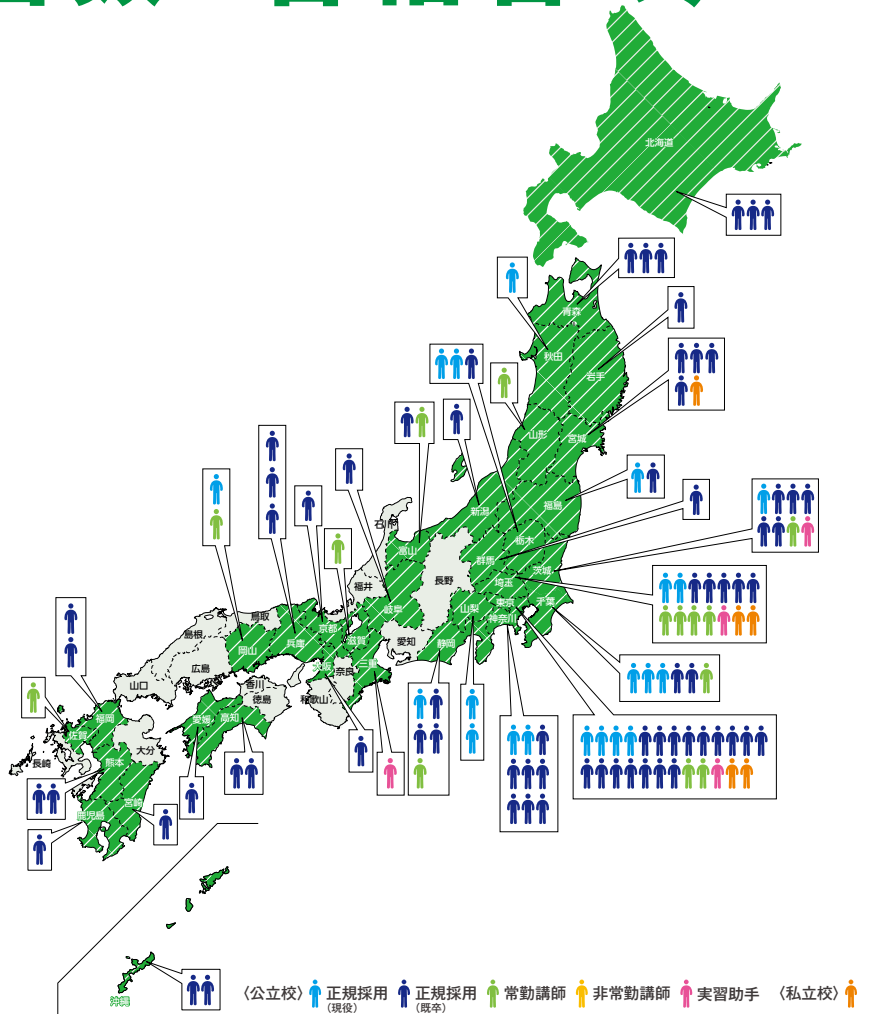
編集 MEMO

木内先生は本年度東京農大教育研究フォーラムで「教科外教育研究ーこの40年における不易と流行ー」と題してご講演をされます。是非ご参加下さい。

令和2年度 教員採用者数&合格者の声

採用種別	人数
● 正規採用 (公立)	90 (70)
● 常勤講師 (公立)	14 (2)
● 非常勤講師 (公立)	1 (0)
● 実習助手 (公立)	4 (2)
● 正規採用 (私立)	1 (1)
● 常勤講師 (私立)	3 (0)
● 非常勤講師 (私立)	1 (0)
総計	114 (75)

※令和2年4月1日現在。カッコ内は既卒者。
※大学院生・科目等履修生は既卒者扱い。



※公立校正規採用合格者数の集計につきましては、全国の各教育委員会にご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

東京都公立中高合格 (理科)



どんな教員になりたいのか、自分の核となる部分を大切にしてください。同じ目標を持つ友人や先生方から多くの学びがあると思います。皆さんを待っている生徒が沢山いますよ！

(国際農業開発学科・令和2年3月卒)

東京都公立中高合格 (理科)



教職課程で出会った友達、先生は一生の宝物です。勉強や授業が辛いときもみんながいたから頑張れました！みなさんも夢に向かって頑張りましょう！

(国際農業開発学科・令和2年3月卒)



横浜市公立中学校合格 (理科)



大学に入学した時から教員になりたいと強い気持ちを持ってたくさんの経験を積んできました。大学の教職で学んだことは、必ず教員になってから役に立ちます！

(森林総合科学科・令和2年3月卒)

栃木県公立中学校合格 (理科)



教員を目指す上で一番大切なことは、最後まで諦めないことです。当たり前と思われることを最後まで貫き通す強い気持ちを大切に、自分を大きく成長させましょう。

(農学科・令和2年3月卒)

東京都公立中学校合格 (技術)



大学入学時は技術科教員を目指してはいませんでしたが、大学で学び、どんどん気持ちが強くなっていきました。充実した学びができるようがんばってください！

(森林総合科学科・令和2年3月卒)

東京都立中学校合格(技術)



楽しむことを忘れずに、日々の生活が勉強だ。教員という夢に向かってつき進んでください！ガンバレー！

(森林総合科学科・令和2年3月卒)

神奈川県立中学校合格(技術)



教職課程を受けて実感したことは、人との繋がりででした。学校だけでは学べないことも多いので、様々なことを体験してみると良いと思います。がんばってください！

(森林総合科学科・令和2年3月卒)

東京都立中学校合格(特支技術)



特支の教員を目指し、科目等という形で教職課程を履修しました。教員という仕事では、自分の学びと経験の全てが引き出しとして生かされます。柔軟に視野を広げて下さい。

(科目等履修生)

山梨県立高校合格(農業)



教職課程を通して、目的をはっきりさせることの大切さを再確認しました。何事にも目的意識を持って、自分なりに教員として成長していけたらと思います。

(森林総合科学科・令和2年3月卒)

東京都立中学校合格(技術)



博士前期課程を修了したあと、教員になろうと思いつき今一度農大に通ったこと、学ばせて頂いたこと、今では本当によかったと感謝しています。春から頑張ります。

(科目等履修生)

岡山県立高校合格(農業)



教員採用試験は、情報収集と分析、そして周りとの協力が合格のカギとなります。専門性を高めながら、自分らしい教師を目指して下さい！

(農学科・令和2年3月卒)

千葉県立中学校合格(技術)



教職で大切なことは、コツコツやり続ける事と、協力する友達をつくることです。一人では挫折しそうなことも、仲間となら協力して頑張っていきます。

(森林総合科学科・令和2年3月卒)

さいたま市立学校合格(栄養教諭)



農大での4年間は、たくさん学び、たくさん笑い、とても充実した時間でした。教職課程を履修したことで、自分の夢を見つけ、先生や仲間のお陰で夢を叶えることができました。

(栄養科学科・令和2年3月卒)

茨城県立中学校合格(理科)



4年生の始まり、先生になるイメージがない中で、実習や教探の経験を通じて、教育者としての一步を踏み出す気持ちが芽生えてきました。皆さんも焦らず、頑張ってください。

(森林総合科学科・令和2年3月卒)

さいたま市立中高合格(理科)



教員を目指して農大に入学しました。教育の基礎を学ぶと同時に、学科での専門的な知識を学ぶことができました。農大で学んだことを全て活かして教員生活を頑張ります。

(生物応用化学科・令和2年3月卒)

秋田県立高校合格(農業)



教職はすごく厳しい道のりですが、良い仲間と共に切磋琢磨しながら、乗り越えていってください。最後、信じていることができるのは自分自身です。精一杯頑張ってください！

(食料環境経済学科・令和2年3月卒)

千葉県立高校合格(農業)



教職課程を通して、交友関係が広がり同志と夢を実現することができました。勉強は大変ですが、頑張ったことは自信になります。最後まで自分らしくチャレンジしてください。

(農学科・令和2年3月卒)

千葉県立高校合格(理科)



私は教職課程で大切な友人と出会えました。同じ将来の夢に向かって進む仲間がいる事はとても心強く、色々な授業で意見交換したり、模擬授業を行ったのは良い刺激でした。

(バイオセラピー学科・令和2年3月卒)

栃木県立高校合格(農業)



多数ある進路の中で教師の選択は簡単ではありません。教師を迷っている方は覚悟を決めること、第一志望の方は、各自治体の特色を調べ、自分の考えを深めることが第一歩です。

(農学科・令和2年3月卒)

私立中学・高校合格(理科・農業)



社会人を経験しましたが、教員の道へ進むことに導かれ、科目等履修生として2年間で教職課程を履修しました。「昼間は仕事、夜は授業」とタイトでしたが、濃密な2年間でした！

(科目等履修生)

令和2年度 教職課程世田谷・厚木キャンパス 主な年間スケジュール

- 新入生へのガイダンス<4月~5月>
 - 教育委員会、東京私立中学高等学校協会担当者による学内説明会<4月~5月>
 - 学校ボランティア説明会<4月~5月>
 - 教育実習生の派遣<5月~11月>
 - 新入生（1年次生）教職課程履修申し込み<6月>
 - 介護等体験への派遣<3年次 7月~2月>
 - オープンキャンパス<9月19日(土)・20日(日)>
 - 令和2年度免許状更新講習の開催<8月18日(火)~22日(土)>
 - 夏季若手教員研修会の開催<8月10日(祝日)>
 - 教員採用試験対策講座の開催（世田谷・厚木キャンパス）<9月~翌年8月>
<講座全33回、模擬試験3回予定>
 - 教育研究フォーラムの開催（世田谷キャンパス）<11月14日(土)>
 - 教職実践演習（現地演習）学生派遣<11月~翌年2月予定>
- ※ 詳しくは、東京農大ホームページをご覧ください。

令和2年度夏季若手教員研修会

日時：令和2年8月10日(山の日のため祝日) 13:00~16:00

場所：(農業科) 東京農業大学世田谷キャンパス 11号館 2階教職課程模擬教室・(技術科) 7号館 1階木工室

講師：東京農業大学教職課程（農業科）村上敏文・(技術科) 實野雅太

研修内容：(農業科) 土壌分析：新科目「栽培と環境」に対応した簡単な土壌分析を行い、土と肥料の基礎を学びます。

(技術科) 生物育成とプログラミング：生物育成とプログラミングを複合した教材のワークショップを行います。

※ 詳しくは、東京農大ホームページをご覧ください。

令和2年度 免許状更新講習

日時：令和2年8月18日(火)~22日(土)

受講対象：中学校技術・中学校理科・高等学校理科・高等学校農業のうち、いずれかの免許状所持者

受講定員：60名（受講料 35,000円）

講義内容：必修領域 「教育の最新事情」 令和2年8月18日(火) 選択必修領域 「教育の最新事情」 令和元年8月19日(水)
選択領域 「バイオテクノロジー・プログラミングと木工・地域再生」 令和2年8月20日(木)~22日(土)

応募条件：5日間すべて受講できる方

応募方法：令和2年5月18日(月) 10:00~受付開始予定

※ 詳しくは、東京農大ホームページをご覧ください（4月下旬公開予定）

第23回 東京農大教育研究フォーラム

開催日時：令和2年11月14日(土) 13:00~16:00

開催場所：世田谷キャンパス 横井講堂

講演者及び講演題目：東京農業大学農学部デザイン農学科教授 長島孝行

「インセクト・テクノロジーと教育」

東京農業大学教職・学術情報課程教授 木内隆生

「教科外教育研究 -この40年における不易と流行-」

共催：東京農業大学教職課程/全国教職員部会連絡協議会

後援：東京農業大学校友会/東京農業大学教育後援会

※ 詳しくは、東京農大ホームページをご覧ください。

東京農業大学教職課程ホームページ

<http://www.nodai.ac.jp/edu/index.html>

東京農業大学教職課程 Annual Report [令和2年度版] 世田谷・厚木キャンパス編

東京農業大学教職課程

No.6 2020年4月20日

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

編集人 熊澤恵里子・實野雅太

e-mail: kyosyoku@nodai.ac.jp